

令和4年3月期 業務実績報告書（経営総務課）

一般事項

1 水道料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,125	364,395	363,200	364,332	1,195	63
2 調定水量	m <sup>3</sup>	583,667	7,653,878	7,514,000	7,777,525	139,878	△ 123,647
3 調定料金(税抜)	円	159,584,091	2,054,706,438	2,035,000,000	2,083,913,116	19,706,438	△ 29,206,678
4 口振加入件数	件	24,844	300,545	-	300,876	-	△ 331

2 下水道使用料調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	18,677	223,544	218,400	220,236	5,144	3,308
6 調定水量	m <sup>3</sup>	364,373	4,689,401	4,565,000	4,704,791	124,401	△ 15,390
7 調定料金(税抜)	円	58,383,102	743,074,089	719,684,000	742,497,604	23,390,089	576,485

3 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	76,625	-	76,617	8
9 給水件数	件	30,167	-	30,155	12
10 開栓処理件数	件	470	2,922	2,996	△ 74
11 閉栓処理件数	件	294	2,924	2,984	△ 60
12 給水工事設計審査	件	73	584	579	5
13 給水工事竣工検査	件	102	683	765	△ 82
14 経年メーター交換	件	3	3,207	3,425	△ 218
15 メーター口径変更	件	2	71	56	15
16 督促状発送数	件	1,256	15,848	15,992	△ 144
17 月末停止件数	件	90	-	117	△ 27

4 排水設備業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	38	362	335	27
19 排水設備工事完了検査	件	35	336	363	△ 27

5 水道料金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
20 当年度分	184,533,599円	91.84%	190,098,237円	91.71%
21 過年度分	3,195,165円	98.35%	3,841,615円	97.99%
22 計	187,728,764円	-	193,939,852円	-

6 下水道使用料徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
23 当年度分	77,990,360円	90.46%	78,814,947円	90.35%
24 過年度分	553,132円	99.25%	603,170円	99.08%
25 計	78,543,492円	-	79,418,117円	-

7 受益者分(負)担金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
26 当年度分	425,600円	98.79%	552,400円	98.72%
27 過年度分	1,785,000円	15.41%	2,116,700円	29.98%
28 計	2,210,600円	-	2,669,100円	-

特記事項

1. 3月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・上水道事業  
ア 収益的収支

当期の給水収益は175,806千円(税込)で、前月期に比べて5,723千円の減、対前年同月比では4,194千円の減となっています。営業収益は176,453千円、営業外収益は長期前受金戻入及び退職給付引当金戻入益等306,659千円を執行しました。当期の営業費用は減価償却費や資産減耗費など1,464,368千円、営業外費用は、企業債利息及び雑支出として53,022千円、特別損失として3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震に伴う修繕費用11,976千円や放射能測定費用などを併せた12,025千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、工事完成に伴う企業債の借入や補助金及び一般会計からの出資金など429,047千円の執行となりました。支出は、建設改良費として工事請負費や職員給与費などを含む事務費258,526千円、企業債返還金として243,603千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は64,221千円(税込)で、前月期に比べて2,870千円の減、対前年同月比では1,254千円の減となっています。営業収益は64,582千円、営業外収益は、長期前受金戻入や退職給付引当金戻入益など1,329,175千円を執行しました。

当期の営業費用は減価償却費や委託料など2,421,062千円、営業外費用は企業債利息145,318千円、特別損失は地震に伴う修繕費用6,155千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、工事完成に伴う企業債の借入や国・県補助金など390,733千円となりました。支出は、建設改良費として工事請負費や調査設計費など303,039千円、企業債返還金として744,508千円、基金積立金として30,986千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 登米市議会定例会2月定期議会及び3月特別議会について

3月15日(火)に開催された令和4年度登米市議会定例会2月定期議会において、「令和4年度水道事業会計予算」及び「令和4年度下水道事業会計予算」が原案のとおり可決しました。また、3月25日(金)の3月特別議会において「令和3年度水道事業会計補正予算3号」及び「令和4年度水道事業会計補正予算第1号」が審議され、原案のとおり可決しました。

令和4年度水道事業会計は、将来にわたり水道事業が安定して安全な水道水を供給するため、保呂羽浄水場更新事業や基幹管路の耐震化、劣化の進む機器類の更新などを計画的に進めるとともに、水道料金の改定に取り組み、経営基盤強化を行ってまいります。

令和4年度下水道事業は、市民が快適で安心して暮らせる環境づくりを目指し、施設の長寿命化対策や更新を計画的に進めるとともに維持管理費経費の見直しや下水道使用料の改定に取り組み、事業の基盤強化に努めてまいります。

① 業務の予定量(水道事業)

区分	令和4年度予定業務量	令和3年度予定業務量	対前年度増減
給水件数	30,000件	30,000件	増減なし
年間配水量	9,024,550m <sup>3</sup>	8,565,900m <sup>3</sup>	458,650m <sup>3</sup> 増
年間有収水量	7,739,900m <sup>3</sup>	7,566,900m <sup>3</sup>	173,000m <sup>3</sup> 増

② 業務の予定量(下水道事業)

区分	令和4年度予定業務量	令和3年度予定業務量	対前年度増減
水洗化世帯数	18,800世帯	18,200世帯	600世帯増
年間有収水量	4,633,000m <sup>3</sup>	4,565,000m <sup>3</sup>	68,000m <sup>3</sup> 増
世帯有収水量(月毎)	20.54m <sup>3</sup>	20.9m <sup>3</sup>	0.36m <sup>3</sup> 減

# 令和4年3月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

## 水道施設課

### 経営分析の状況

#### ◎ 配水量の状況

（単位：m<sup>3</sup>）

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	850,768	9,923,928	9,199,770	9,917,433	724,158	6,495
総配水量	797,082	9,276,696	8,565,900	9,223,131	710,796	53,565
1 有効水量	638,211	8,216,132	8,115,400	8,474,957	100,732	△ 258,825
(1) 有収水量	589,744	7,707,270	7,566,900	7,833,693	140,370	△ 126,423
(2) 無収水量	48,467	508,862	548,500	641,264	△ 39,638	△ 132,402
2 無効水量	158,871	1,060,564	450,500	748,174	610,064	312,390
(1) 漏水量	158,357	1,054,938	443,000	738,838	611,938	316,100
(2) その他無効水量	514	5,626	7,500	9,336	△ 1,874	△ 3,710
3 有収率	73.99%	83.08%	88.34%	84.94%	-5.26%	-1.86%

※ 当月期の最大配水量は、17日（水）に記録した【31,384m<sup>3</sup>】です。

#### ◎ 主要な建設改良事業の状況

（単位：件・千円）

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	1	21,145			1	21,141	4	100.0%
浄水施設整備事業	5	47,520	1	38,940	4	8,573	7	100.0%
配給水施設整備事業	50	967,731	7	491,847	43	434,283	41,601	95.7%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

※ 施工中は繰越分

### 特記事項

#### 1 福島県沖を震源とする震度6強の地震発生

3月16日（水）23時36分、福島県沖を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生し、本市では震度6強が観測され、市内全域で甚大な被害に見舞われました。

水道施設においても、建屋内壁の亀裂や門扉の倒壊など9件の被害が発生し、また、市内各地で配水管は19件、給水管は16件、配水管付属施設の空気弁が5件と合計49件の漏水が発生しました。

配水管、給水管など35件については、3月中に修理が完了しました。残りの14件は補正予算成立後に復旧工事を行う予定としております。



【大岳配水池門扉倒壊の状況】

#### ◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m <sup>3</sup> /h)
	配水管	72	159.827
付属施設	0	0.000	
給水装置	94	93.058	
計	166	252.885	

【漏水調査結果：3月】

※参考：漏水量削減効果（金額換算）  
約1,669,102円/日当たり  
算定：R2年度給水原価 275.01円  
累計漏水量 252.885m<sup>3</sup>/h  
252.885m<sup>3</sup>/h×24h×275.01円

#### 2 令和3年度の漏水調査結果について

令和3年度の漏水調査については、166件 252.885m<sup>3</sup>/h(累計)の漏水を発見し修理を行いました。しかし、3月末での有収率が83.08%となり、計画有収率88.34%を達成することができませんでした。また、前年度比較でも1.86ポイント低い結果となりました。

要因は、無効水量（特に未確認漏水量）が増加したことと、3月16日に発生した地震の影響により、配水管等の破損による漏水量の増加が考えられます。

令和4年度は、結果の検証分析により調査方法等を再度検討し、漏水の早期発見有収率の向上に努めます。

## 下水道施設課

### 経営分析の状況

#### ◎ 処理水量の状況

（単位：m<sup>3</sup>）

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D)		備考
				対前年度 (B)-(C)		
公共下水道（迫・中田・登米・南方）	268,392	3,200,773	3,158,561	42,212		1処理場
特定環境保全公共下水道	54,675	655,847	657,859	△ 2,012		3処理場
米谷・錦織処理区	11,461	140,495	147,940	△ 7,445		
豊里処理区	31,636	373,265	362,386	10,879		
津山処理区	11,578	142,087	147,533	△ 5,446		
流域関連特定環境保全公共下水道（石越）	11,762	152,033	155,065	△ 3,032		
農業集落排水	111,971	1,343,655	1,332,993	10,662		24処理場
迫地区	9,979	117,966	106,939	11,027		
東和地区	2,800	36,212	36,618	△ 406		
中田地区	31,505	369,179	364,867	4,311		※水量訂正
豊里地区	1,908	23,566	24,608	△ 1,042		
米山地区	46,093	558,517	561,007	△ 2,490		※水量訂正
南方地区	19,686	238,216	238,954	△ 739		R3.4.1時点
浄化槽（特地・個排）	39,208	498,796	484,934	13,862		1,934基
合計	486,008	5,851,104	5,789,412	61,692		

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

※農集排の中田・米山地区における水量の訂正は、石森・新小路・桜岡第二地区の流量計の故障によるもの。

#### ◎ 主要な建設改良事業の状況

（単位：件・千円）

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	16	529,918	1	199,045	12	245,355	85,518	83.9%
ポンプ施設整備事業	1	16,390	0	0	1	15,950	440	97.3%
処理施設整備事業	93	400,044	2	141,850	88	198,951	59,243	85.2%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計を記載。件数には合冊契約している箇所数を含む。

※浄化槽整備事業の受付は、予定件数の80件となり12月末で終了しました。（受付件数の実績：86件）

### 特記事項

#### 1 地震災害に伴う応急対応の実施

令和4年3月16日発生した福島県沖地震により、下水道施設や市で管理を行っている浄化槽に多大な被害が発生しました。中でも南方町新高石地区においては、下水道管渠（圧送管）が被災し漏水していたことから、緊急の応急対応を実施したところから、今後の順次、被災箇所の復旧を進める予定となっています。



【災害復旧の状況】

#### 2 汚水管渠築造工事の完了

中田町宝江新井田33工区の汚水管渠築造工事が完了しました。この工事は、開削工法及び推進工法による管路(施工延長139.00m)、マンホール(4基)の整備を行ったもので、令和4年4月1日からの供用開始を予定しています。

来年度は、同地区の過年度に管渠の埋設を実施し、仮復旧の状態である道路舗装の本復旧を予定しています。



【仮設ケージ 建込状況】